

「ツキノワグマの生態と対策」

R8/8/29

平芝自治区 井上

日時：令和8年8月21日（金）14:00～15:30

主催：豊田市役所環境政策課

場所：豊田市自然観察の森1階研修室

講師：豊田市役所環境政策課 弘中氏

(株)野生動物保護管理事務所

耳は非常にいい（特に高音に敏感）

犬よりも鼻がいい

噛む力が強い



力が強く、木登りも得意

走ると速い

爪は長く鋭い

I. 受講の目的

- ・災害は自然災害だけでなく、クマも立派な災害である
- ・豊田市内でも八草周辺でツキノワグマの目撃情報があった
- ・すぐには旧市街地に来ることはないと思うがいずれ出没する可能性はあると考える
- ・逆に、自身が山間部へドライブ等で出かける場合クマと遭遇する可能性はある
- ・いざという時を考えて、クマに関する正しい知識を得ておいたほうがいいと考えた

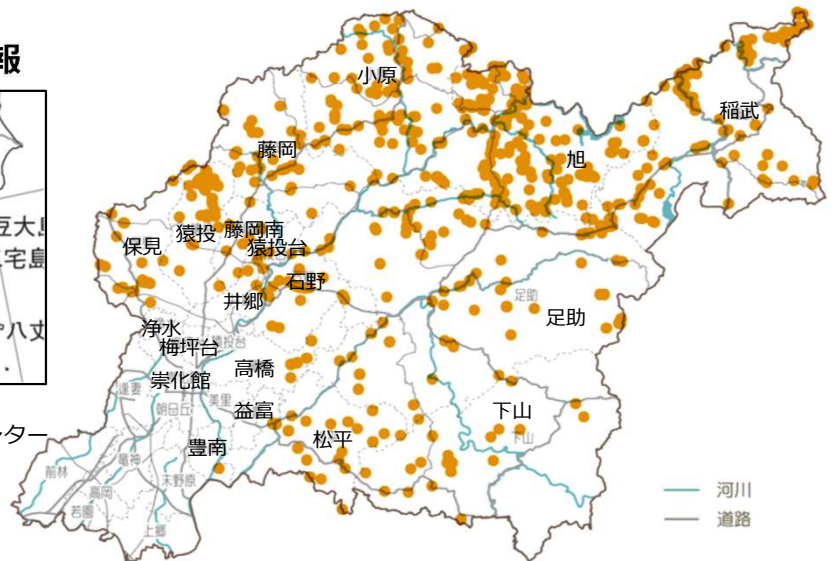
II. 講習内容

1. 豊田市のツキノワグマ目撃情報



ツキノワグマの生息分布

日本の動物分布図集（2010）環境省生物多様性センター



ツキノワグマが確認された所（豊田市 2009年～2025年）

- ・愛知県北部がツキノワグマの生息分布に含まれており、豊田市にもツキノワグマはいる
- ・豊田市はツキノワグマの分布拡大の最前線
- ・今は市街地には出てきていないが、その内出てくる可能性はある

記事1) 2024年8月23日 中日新聞「豊田でクマ出没急増、市街地近い猿投山でも遭遇しないための「予防策」とは」 (<https://www.chunichi.co.jp/article/947316>)

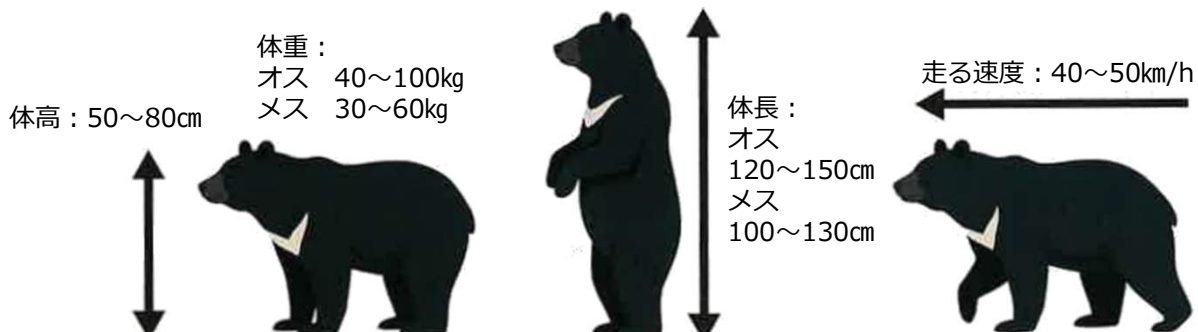
記事2) 2019年10月23日（水曜日）午前8時頃、豊田市加塩町寺屋敷地内で、地域住民がツキノワグマに襲われて怪我（詳細は愛知県HP：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/tsukinowaguma2019-2.html>参照）

記事3) 「梅坪の熊騒動」梅坪台の歴史と文化：令和2年10月発行
梅坪小区の歴史と文化を考える会編集・発行より（詳細は添付資料参照）

2. ツキノワグマについて

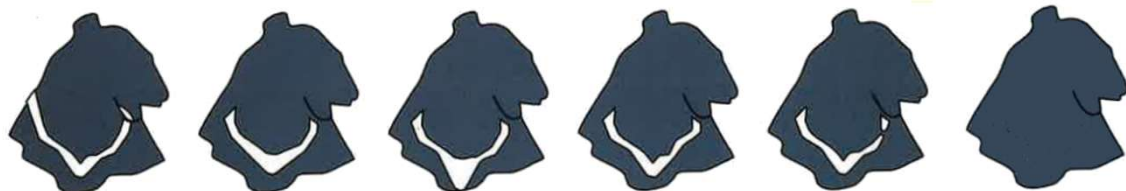
- ・食肉目クマ科ツキノワグマ属。体色は黒。胸にV字・三日月型の白い斑紋(月の輪)があるが、稀にない場合もある

1) 体の特徴と大きさ ※4（参考文献詳細は最終頁）



2) ツキノワの形 ※4

- ・ツキノワ模様は1頭1頭で異なる→個体判別でも活用される



顎の下、肩まで
続いている例

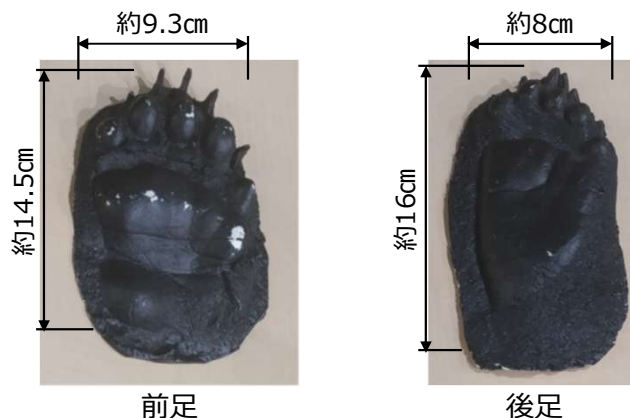
途中で切れている
ものもある

ツキノワがない
個体も

3) 頭蓋骨・手のひら（筆者撮影）



牙および下顎の骨が発達している

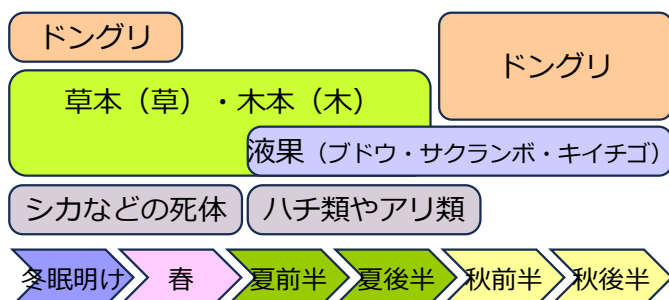


前足

後足

4) ツキノワグマの食べ物

- ・ツキノワグマは雑食性（基本はドングリ）



5) クマの生活史（環境省HP）

冬眠期

11～12月頃から冬眠
冬眠中に産

3～5月頃活動開始

冬

春

秋

夏

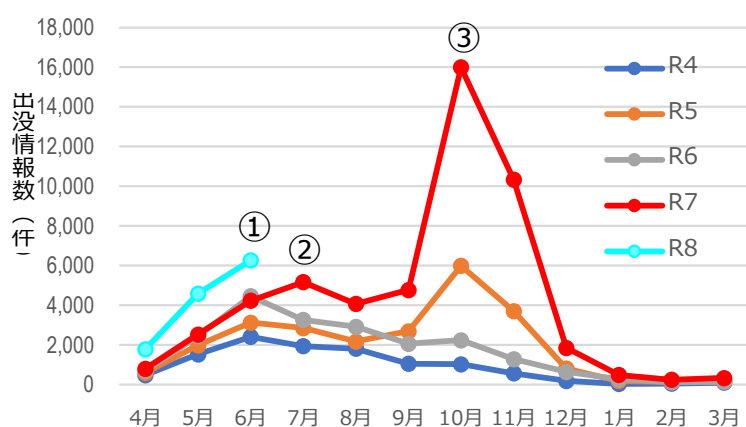
冬眠に向けて、
たくさんの食物を採食

初夏に繁殖期
同時期に子別れ

飽食期

繁殖・分散期

6) 季節による出没数変化（環境省HPを元に筆者作成）



①クマの出没は例年6月がピーク

- ・若いオスが故郷から大移動
- ・大人オスがメスを求めて活発に行動

②令和7年度は7月になっても増加

③令和7年度は秋に特に顕著な増加

- ・食物を追い求める季節
- ・ドングリが不作
→行動範囲が広がる
→行動範囲が低標高に
→大量出没の要因の一つ

7) ツキノワグマのフィールドサイン

①糞：食物によって形や色が様々

⇒肉食動物に近い消化器官を持ちながら、植物を主食としているため細かく消化されない

②爪痕：4～5本の平行な引っ掻き傷や小さくえぐられた傷が形作られる



③クマ棚：樹上の果実や堅果を食べるために、太い枝に座りながら周囲の細い枝を折り、一箇所にたぐり寄せて食べた跡



3. クマによる被害や出沒の事例

1) クマによる被害：クマによる被害は以下のようなものがある

- ・養蜂被害 ・カキの被害 ・庭先の生ごみ被害
- ・家屋への籠城 ・住宅街を走り回る ・木に登る

2) 出沒事例と人身被害件数

- ・クマ類の生息個体数（R8年3月時点）：全国 57,793頭※1
中部* 17,553頭※1
*（新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知）
- ・出沒情報（R7年度）：全国 50,801件※2
中部 8,932件※2
- ・人身被害件数（R7年度）：全国 215件※3
中部 41件※3

※単純に比較はできないものの、加害個体はごく一部

<引用> ※1 環境省「クマ被害対策ロードマップ」（令和8年3月27日）

※2 環境省「クマ類の出沒状況について[速報値]」（令和8年7月7日）

※3 環境省「R7年度におけるクマの人身被害件数[速報値]」

3) 災害や出沒が起こるきっかけ

<クマに関する要因>

- ・個体数の増加
- ・生息分布拡大
- ・警戒心の低下
- ・繁殖期（オスが活発に活動）
- ・分散（若いオスが独り立ちして活動）

<環境・人に関する要因>

- ・身を隠せる侵入経路
- ・山の餌資源が不作（堅果・液果）
- ・里山環境の変容（干渉帯消失）
- ・集落の誘因物

4) アーバンベア ※4

- ・近年札幌、仙台など大都市周辺でも見られるようになった
- ・大都市は山を切り開いて大きな団地を形成し直に山とつながって人が暮らすようになった
- ・団地も高齢化が進み、人口が減少
- ・人通りが少なくなり、クマが中心部まで出て越冬まですることもある
- ・アーバンベアの出沒は奥山のドングリ類の豊凶には関係ない
 - 母グマによる野生化訓練を受けていない子グマが山に入らず市街地に依存
- ・アーバンベアはなぜ市街地で走るのか
 - もともと臆病な性格のクマは早く隠れられる場所へ移動したがって走る
 - 奥山から出てきた別の大グマが下りてきて、里地里山で暮らすクマが市街地へ押し出されるが、大グマを恐れ、警戒する緊張や興奮がクマたちを走らせる

町に出沒するクマの呼称

1980～：集落依存型

1990～：ノラグマ

2000～：新世紀グマ

2010～：新世代グマ

2020～：アーバンベア



4. 人の生活圏へ寄せ付けないためには

1) 出沒の要因

①誘因物がある

- ・果樹 ・野菜 ・米ぬか、ぬか漬け ・果実酒 ・養蜂箱、ハチの巣
- ・油かす ・家畜 ・家畜飼料、ペットフード
- ・ガソリン、塗料、防腐剤等**揮発性化学物質** ・生ごみ、廃棄作物、コンポスト

②侵入しやすい（緩衝帯がない）

2) 対策

- ①誘因物 ②侵入しやすさ をなくす：集落の魅力をなくし、人とクマの生活エリアを明確に分ける
（**食べたい** < **怖い** を徹底する）

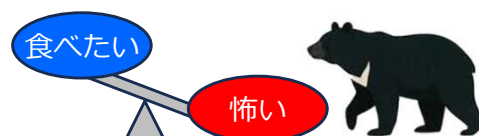
すなわち、

(1)誘因物については、**エサをなくす**（魅力ゼロ）

(2)侵入対策として、**囲う**（期待ゼロ）

(3)**ヤブ**（隠れ場所）に**注意**する

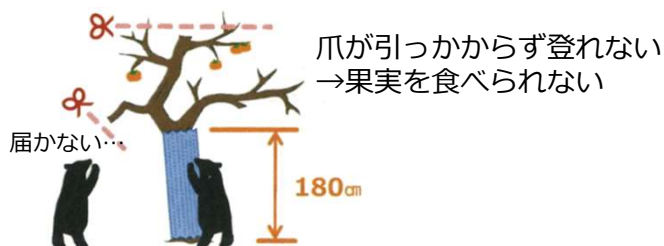
これら3つを総合的に実施することで被害減少！



(1)エサをなくす(魅力ゼロ)

秋から冬の主な出沒要因は柿とクリ

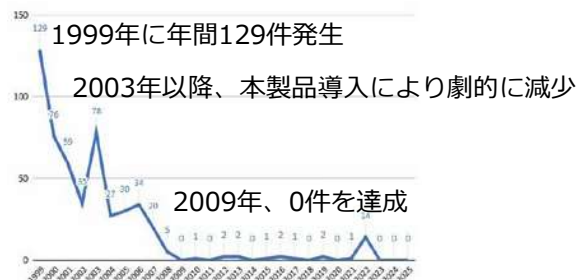
- ・ 不要な果樹は伐採
 - ・ 管理できる実の量に剪定
 - ・ 落ちて実のは放置しない
 - ・ 必要な果樹にはトタンや電気柵を巻く
- 果実が残っている限り動物は誘引される
速やかに、残さず収穫することが重要**



(2)囲う(期待ゼロ)

<ゴミ箱>

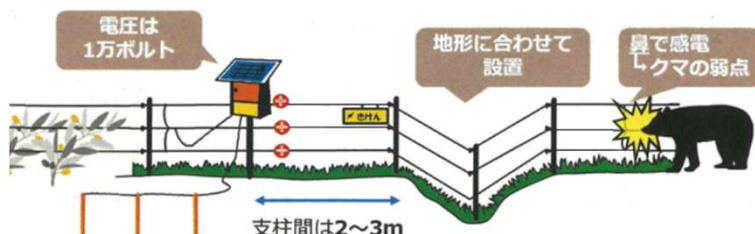
- ・ 可能なものは屋内保管
 - ・ 家屋や倉庫は施錠
 - ・ ゴミの管理
- …収集当日の朝出す
ゴミ捨て場を改良する
(軽井沢町の例)



特定非営利活動法人 ピッキオ プレスリリース：2026年06月16日

<電気柵>

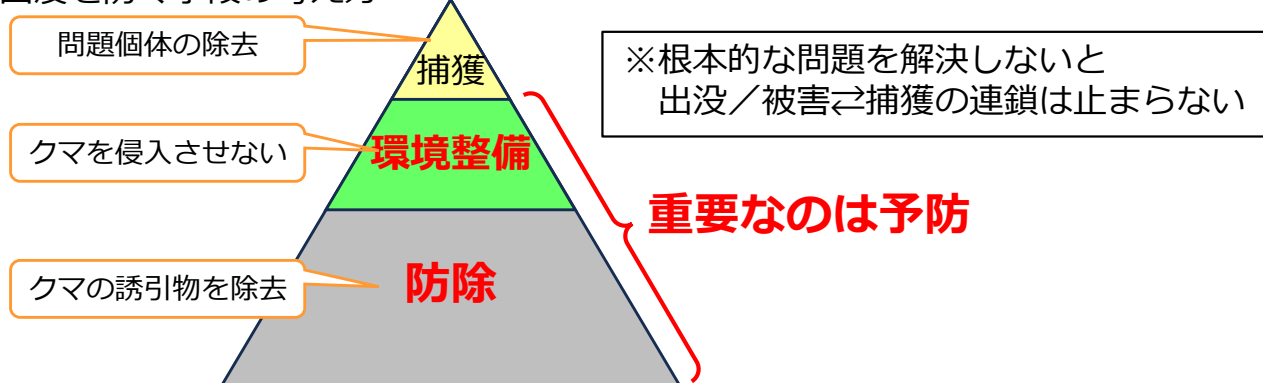
- ・ 電気刺激を学習することで柵に近寄らなくなる
- ・ 通電しやすい地面に設置
- ・ クマが鼻先で触れるような高さに設置
- ・ 漏電に注意



(3)ヤブ(隠れ場所)に注意

- ・ 環境整備：ヤブの刈払い・間伐等
- 緩衝地帯を生み出す

3) 出沒を防ぐ手段の考え方



5. 野外でクマに遭遇しないための対策

ヤブや見通しの悪い森林に入る・近づく際に注意すること

- 1) 人の存在をアピールする
- 2) 遭遇しやすい場所で特に注意する
- 3) 出沒や遭遇を避けるための習慣づけ

1) 人の存在をアピールする

- ・ クマは人に会いたくない
- ・ 音を出して人の存在を知らせる

- ・ クマ鈴
- ・ 手をたたく、声を出す、笛を吹く
→特にヤブ、カーブなど見通しが悪い場所、痕跡がある場所
- ・ ラジオ→止まって作業するときなど
- ・ 複数人で行動
- ・ ヤブから物音、鳴き声、気配を感じたら静かに後ずさり・引き返す

多くの場合、こちらが気づく前にクマが立ち去る

2) 遭遇しやすい場所で気を付ける

- ・最近目撃情報があった場所
- ・クマの食べ物がある場所
春：山菜（たけのこ、新芽）
夏：サクラ類 秋：ヤマブドウ、ドングリ
- ・クマの新しい痕跡のある場所



クマの気配に注意

3) 出没や遭遇を避けるための習慣づけ (家でも外出先でも)

- ・出没情報がある場合は気を付ける
- ・早朝や夕方は山に近づかない
- ・戸締りの徹底
- ・匂いが出るものを外に置かない
- ・できるクマ対策はいくつも実践
⇒より効果的

令和8年度の出没情報

日時	地区	場所	区分	確認状況
4月8日（水曜日）	稲武	黒田町一色	目撃	道路上でクマらしき動物1頭が目撃された。
4月9日（木曜日）	松平	大内町井ノ木沢	目撃	道路の法面でクマらしき動物1頭が目撃された。
6月7日（日曜日）	旭	浅谷町下万場	目撃	山際の畑でクマらしき動物1頭が目撃された。
6月13日（土曜日）	稲武	小田木町工畑	痕跡	川岸でクマの足跡が確認された。
6月24日（水曜日）	稲武	小田木町大水別	目撃	道路を横切るクマらしき動物1頭が目撃された。
6月26日（金曜日）	下山	下山代町下坂佐後	目撃	道路脇でクマらしき動物1頭が目撃された。
8月27日（木曜日）	小原	上仁木町柿ヶ入	目撃	駐車場付近でクマらしき動物1頭が目撃された。

出没情報の一覧で確認（豊田市HPより抜粋）

4) クマに遭遇した時はどうするか

① 距離がある段階で遭遇した場合

- ・目をそらさず後ずさり（絶対に背中を向けて走らない）
- ・木などの陰に隠れる

② 目の前で遭遇した場合

- ・クマスプレーを噴射、もしくは防御姿勢（最終手段）⇒

リュックが
守ってくれることも

頭・首・お腹を守る態勢



☆出会わないように対策するのが一番大切

6. クマ対策グッズ（以下はAmazon掲載の一例：効果については個人で確認・判断ください）



Counter Assault
アメリカ製



熊一目散
日本製
(豊田市自然観察の森で販売)

クマよけスプレー



【爆竹 銃音 猛犬】
110dB 大音量
4種の威嚇音

クマよけブザー



大音量 笛 防災 音量調整
3種類のホイッスル音

熊よけ電子ホイッスル



クマよけ鈴・
クマよけ笛付

熊鈴

Ⅲ. 所 感

- ・クマに出会った時の対応は、書籍やネットに掲載されているもので、それなりに効果がある対応と考えるが、必ずしもそれが100%有効とは限らない。しかし、万が一クマに遭遇した場合は、ここに記載された対応を思い出し、精いっぱい対応を行うことが大事であるとする
- ・現状ではまだクマが豊田旧市街地に出没したという記録はないが、いずれは出没する可能性はゼロではない。いざという時対応ができるかどうかは別として、その時になって慌てることのないよう、普段から意識をしておくことが大事と考える
- ・そのためのクマの生態や対応方法を学ぶことができ、大変有意義な講習であった

以上

ちょっと
ひと休み

おもしろ話

梅坪の熊騒動

昭和28年(1953年)のある日、四郷町から上原町へ向かって、真っ黒な動物が田んぼの穂波をかき分けて走り去ったそうです。

その後、京町に現れて子ども(4才~6才)数人と大人ひとりが襲われました。それを聞いた勇敢な大人が丸太棒を引っさげて熊と戦いました。

そして、警察や猟友会も動員され、熊はだんだん透玄寺の方へ追い詰められていきました。

寺で退治された熊は子牛ほどもある大きなツキノワグマだったそうです。その日はちょうど10月17日の観音様のご命日。「寺へ逃げ込んだのは何かの因縁かも知れん」と熊観音を作ってお祀りしたそうです。

当時、この地域に熊がいるはずもなく「きっと信州の方から出てきたのだろう、かわいそうに」と同情しきりだったとか。

-昭和63年発行『ぶらぶらてくてくガイド』より-



退治されたツキノワグマ

挙母市に熊が出た

丸太棒持つて飛び出した
梅坪山の金太郎 噛みつかる

挙母の街に熊が出た!! だれもが想像もされないナンセンスが現実の問題として挙母神社大祭の前奏曲を賑はした。顔を一撃された子供たちはいまだに大きな犬が出たと、熊は大半暗い喜々として殺れているなかにもまた当時の恐怖が心の底に宿っているようだ。以下は当時の新聞に出なかった武勇伝やら、熊の花の生涯、を……

熊の足どりは十月十七日の未明、越戸の北部方面から雄々と歩を進め朝六時ごろ猿投町上原地内の越川附近に耳休を現し挙母青果市場通りを農家に殴り込をかけて渡河作戦を行なう。八時ごろ挙母市梅坪西山畑地内に出現し附近で遊んでいた大工高

血を流すほどの

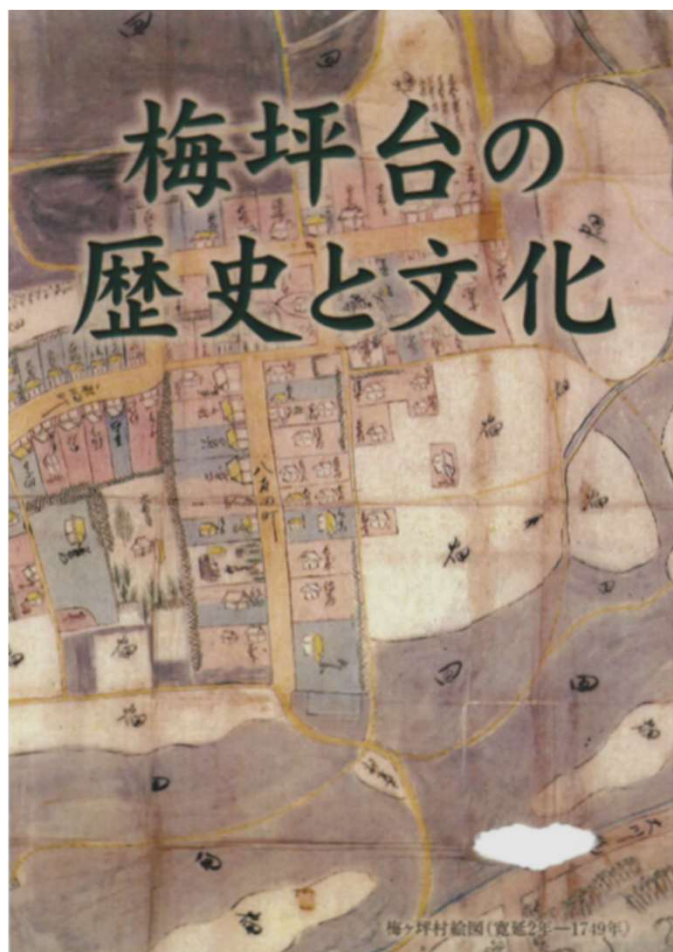
兄弟喧嘩をせんでも

としかり飛べたが、熊の乱行と判りりせーカで加茂病院へ送り込んだ。さらに熊は北進して全村島居下に現はれ、こどもも路上に、たわむれていた無心の倉地富男さんの長男正夫らやん(六つ)二男太ちやん(五つ)畑で作業中の水野勘一さんの長男良吾君(元)に襲い顔面を光つたトタンこの野郎

昭和二八年(癸巳)一九五三

メと頭部めがけて一撃くらわせた。間髪もいれず左脚太腿部を噛みつけたので、さらにお尻をちからいづばい殴りつけたら熊が逃げチャップタ(本人の話)△警察から通事所の林務課へ熊現る狩猟家を動員する。まうに電話があつたが、ナアロー熊が挙母に出るもんかと、たかをくくつていたものの二名の重傷者が加茂病院へ収容したと聞きヘンタをかり出した。現地では上原、梅坪、防園、挙母市署員、地方村民総勢七十余名に、よる、ものものしい混成の捕の陣が布かれた。△警察敢せずと悟つたのか熊は上原透玄寺へ逃げ込んだ。全寺の尼僧さんは警鐘をな

昭和28年の新聞記事



編集後記

「梅坪の歴史散歩」に続いてこの冊子が発刊することができて、私たち「梅坪小区の歴史と文化を伝える会」の活動が一段落ついたと思います。この冊子の制作にあたりご協力いただいた皆様方に感謝いたします。

「梅坪の歴史散歩」の発刊時にも思いましたが、あらためて梅坪には長い歴史があることが分かりました。またこの冊子作成にあたり新しい発見や先人達の苦勞・努力・先見性を持ったまちづくりなど、ご活躍の様子を知ることができました。それらのことを次の世代に記録として伝えていくことが大切であることを再認識し、冊子にまとめることができたことを嬉しく思います。

皆様もこの冊子をきっかけとして地域や家庭内でのコミュニケーション向上につなげたり、梅坪台地域の歴史や文化遺産等を守り、後世に伝えていただければ幸いです。

梅坪小区の歴史と文化を伝える会

「梅坪台の歴史と文化」編集メンバー



2020年8月

編さん関係名簿

「梅坪小区の歴史と文化を伝える会」

岩松文一 杉浦利 藤下隆 杉山和弘 三岡健基 小野吉朗 今井四郎
八木勲 山田良一 吳紫節子 鈴木重久 杉浦隆 三岡美穂

「資料提供等協力者」

太田周典 山下謙一 倉地利夫 柳本隆治 藤谷剛子 雲崎山安長寺
梅坪山宮宮寺 瑞穂光山薬師寺 梅雲山慶中寺 圓通山達玄寺
豊田市で梅坪小学校 各自治会 豊田市郷土資料館 各公的施設等
梅坪小学校池城学校共働本館

「梅坪台の歴史と文化」令和2年10月吉日 初版発行

編集発行 梅坪小区の歴史と文化を伝える会 製作協力者：カメラクリエート 川尻智恵

79

<参考文献>

※4 サンエイムックRUN+TRAIL別冊 TRAILHEAD軽量登山最前線

私たちが恐れているクマについて；米田一彦著 株式会社三英 2026年8月29日発行

<豊田市>

- ・ツキノワグマとの共生 (<https://www.city.toyota.aichi.jp/sumaikankyo/kankyo/size/1003859.html>)
- ・啓発パンフレット「しってる？ツキノワグマ」
(https://www.city.toyota.aichi.jp/res/projects/default_project/page/001/003/859/r0808/02.pdf)
- ・啓発ポスター「豊田市にはツキノワグマがいます クマとの遭遇に注意」
(https://www.city.toyota.aichi.jp/res/projects/default_project/page/001/003/859/r0404/02.pdf)
- ・ツキノワグマ痕跡識別ガイド
(https://www.city.toyota.aichi.jp/res/projects/default_project/page/001/003/859/r0404/03.pdf)

<環境省>

- ・野生鳥獣に係る各種情報 クマ類の出没対応マニュアル -改定版-
(<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/>)

<その他HP>

- ・アウトドア用品研究室 環境省「クマ類の出没対応マニュアル」国の熊対応の方針
(<https://nebukuro.net/kankyusho-kuma-manual/>)